



東海市立渡内小学校 学校だより



# 渡内っ子

令和8年2月2日 発行

## ほめ方とモチベーション

1月の大放課に「なわとび運動」を行いました。何度も何度も練習したり、できるようになった技を「見て！見て！」と周りの人に披露したりする前向きな姿をたくさん見ました。一方、中には「なわとび苦手」といって消極的な言動を見聞きする場面もありました。それでも見ているとできることはたくさんあるのですが、本人がそう決めているのです。

さて、お子さんの意欲を引き出すとき、皆さんはどんなことに留意されていますか。時には、よかれと思って先回りして注意をしたり、将来の不安を提示して「だから今、頑張らない」と話したりすることもあることと思います。しかし、大人の思いを丁寧に伝えたり、納得が得られるように提示したり、お子さんを信じたり、お子さんが自分で選べるように勇気づけたりすることの方が有効です。注意されないよう行動するよりも、自らの目標に自らの意思で行動することは、集中力を引き出したり、長続きしたりして成果を上げます。また、ほめるといふ行為は、モチベーションを上げたり、お子さん自らが動き出す姿を引き出したりすることに有効です。ただし、ほめ方にはポイントがあります。ミューラー教授とデュエック教授は、「子どもをどう褒めるか」がその後の学習態度や挑戦意欲にどのような影響を与えるのかを研究で明らかにしました。小学生高学年の子ども（400人）に対して、①能力（頭の良さ）を褒める場合と②努力を褒める場合とで子どもの行動がどう変化するかを比較しました。すると①②のそれぞれのグループの子どもは次の傾向を見せました。

- ① 失敗を恐れるようになり、簡単な問題を選びやすくなる。できないのは「自分に能力がないから」と考えるようになる。時として自分をよく見せようと、嘘をつきやすくなる。難しい問題で点数が下がると、自己評価が大きく落ち込む。
- ② 難しい課題に前向きに取り組み、挑戦を楽しむようになる。できないのは「頑張りが足りないから」と考え、失敗を「成長のチャンス」と捉えるようになり、粘り強さが増す。成績も長期的に見て向上する傾向が見られる。

この研究は、子どもたちへの関わりや声かけの方法の重要性を示してくれています。そして努力をほめるときには、本人が特に気を付けて（注意して・考えて）行ったことのよさを、具体的にほめて認めることが有効です。個のよさを大切にしながら、挑戦を楽しむことができるように学校でもお子さんを支えていきたいと考えています。

### 2月の主な予定

令和7年度も残り2か月となりました。それぞれの学年やクラスで1年間のまとめとともに、次年度に向けての準備を進めています。

月	火	水	木	金	土	日
2 A日課 全校集会	3 小学校入学説明会 読み聞かせ3年	4	5 ①②昔の遊び1年 ⑦委員会 1~3年委員会のため 14:10下校	6	7	8
9 B日課 はげみ算	10 出前授業4年 読み聞かせ1年・特支	11 建国記念の日	12 ⑤⑥愛校作業6年	13 ⑤⑥もちつき会6年	14	15
16 A日課 全校集会	17 ⑥児童会役員選挙 (3年見学) 読み聞かせ2年	18 ⑤⑥愛校作業予備日6年	19 ⑥⑦もちつき会予備日6年	20 終日校外学習 (リトルワールド) 6年	21	22
23 天皇誕生日	24 B日課 ⑥九九(3年見学) 読み聞かせ3年	25 ②6年生を送る会	26 40分授業 ③感謝の会 1~2年 14:10 下校 3~6年 15:00 下校	27 40分授業 1~2年 14:10 下校 3~6年 15:00 下校	28	

# 渡内っ子のアルバム

◆◆ 1月16日 4年生 校外学習（アクア・トトぎふ） ◆◆

見学したり、お話を聞いたりして、川の生物や水を守る大切さを学びました。



◆◆ 1月19日 なわとび運動（大放課 ～30日） ◆◆

寒い中でも元気に活動し、できる技や連続で跳ぶ回数を増やしました。



◆◆ 1月20日 3年生 平洲記念館・郷土資料館見学 ◆◆

昔の道具を調べたり、石臼で「きな粉」をひいたり、縄ない機で縄をなう体験をしたりしました。

